

# 南魚沼市に暮らすしあわせ

移住・定住促進に関する情報や、実際の移住者の声をお届けします

【問合せ】 地方創生推進室 ☎773-6659

市では「選ばれる南魚沼市、住みたい、住み続けたい南魚沼市」をキーワードに、将来の人口減少を見すえ、移住者受け入れ促進施策に力を入れています。これまでも、この地の魅力にひかれて移住してきた人が多くいます。「なぜ南魚沼市に住むことを決めたのか」実際に移り住まれた人の声を、シリーズの中で紹介します。

## 移住したみなさんの声 (第1回)

三輪弘和さん・弥生さん〔美佐島〕



市への移住者として最初に話を伺ったのは、美佐島の三輪ご夫妻。「みわ農園」を営みながら、農家の弁当屋「まつえんどん」をお二人で切り盛りする夫妻です。

**Q** いつ南魚沼市へ移住しましたか？

**A** 3年前に金沢から移住しました。私（弘和さん）はUターンで、妻はIターンです。

**Q** 移住を決めたきっかけは？

**A** 2人とも料理人として仕事をしてきた中で、「食材の生産現場を知りたい」「自分で作った食材で料理を提供したい」という思いが強くなった時期と、実家の農業規模拡大の時期が重なったことがきっかけです。

**Q** この地に住んでみて感じた魅力、印象はいかがですか？

**A** 人と人の距離が近くに感じます。最初はよそ者という感じで少し警戒されることもありますが、一度言葉を交わせれば一気に仲よくなり、すごく親切にしてくれます。地域の人はみんな自分の子どものように接してくれ、村ごと家族のようなところがあります。



**Q** これからの夢ややりたいことはなんですか？

**A** 南魚沼産の食材を食べてもらうことで、郷土食やこの地のよいところを市内外に発信したり、南魚沼産の米の価値を上げたいと思っています。現在、耕作放棄地だった場所への作付けを含め、畑を0.4ヘクタール、田を20ヘクタール耕作しています。地味で重労働な面もある農作業に体験者を受け入れて、農業の担い手になることを真剣に考える移住者が増えることにつなげたいですね。

## 移住定住促進支援制度の紹介(住まい編)

### U・Iターン促進住宅支援補助

新潟県内にU・Iターンして就職した40歳未満の人が、市内に賃貸住宅を契約し居住する場合の家賃と初期費用の一部を補助

[地方創生推進室 ☎773-6659]

### ウッドタウン八色団地ふるさと区画購入費助成

県外から転入した50歳以下の人が区画を購入する場合に、購入面積1平方メートルあたり3,000円を助成 [財政課 用地管財班 ☎773-6671]

### 南魚沼の木で家づくり事業補助

市内産の木材を使用して住宅を建築する場合に、その木材の購入額の一部を補助（10ページに詳細を掲載） [農林課 農地林務係 ☎773-6663]

## 首都圏で移住定住をPR

6月15日(水)、東京都品川区の第一勧業信用組合大森駅前支店で開催された魚沼地域の食の魅力を伝える地方物産品販売会に合わせ、南魚沼市の移住定住促進などのPR活動とアンケート調査を行いました。

